



発行：放送大学福島学習センター

〒963-8025 郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/>

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

機関誌～「もみじ」の由来～

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色とりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。



リトル・ファーマー・タイムという 少年を知っていますか？

放送大学 福島学習センター 客員教授 高田 英和

英文学の小説として今からおおよそ 130 年前に書かれ今でも有名なトマス・ハーディの『日陰者ジュード』には、リトル・ファーマー・タイムという少年が登場します。彼は、タイトルにもあるようにこの物語の主人公であるジュード、その子ども(らしいの)です。なので、二人は父と息子の(擬似)親子関係にあります。ジュードは「大きくならないでいられさえしたら！彼は大人になりたくなかった」(14)と、まるで永遠の少年ピーター・パンのような人物にでもなりたいたかのようなのであるのは、興味深い点ではあるでしょう。このようなことを思うことから窺い知れるように、ジュードには金(マネー)がありません。そう、彼は貧乏なのです。リトル・ファーマー・タイムは、ジュードと前妻のアラベラとの間の子どもだとされています。そして、ジュードは後妻(事実婚)のスーとの間に二人の子どもがいます。なので、リトル・ファーマー・タイムは、ジュードと継母のスーのもと、三人兄弟の長男でもあるのです。このような家族に、ある日、非常に特異な出来事が起こります。それはリトル・ファーマー・タイムの死です。

ドアの裏側に衣服をかける鉤が二本ついていて、そこから下の二人の子供たちの体が、トランクの紐を首のまわりに巻きつけたまま吊されていた。一方、二、三ヤード離れた鉤から、小ジュードの体が同じようにぶら下がっていた。(348)

床の上に一枚の紙切れがあった。それには、少年の筆跡で、彼の手持ちのちびた鉛筆で、
こう書かれてあった――

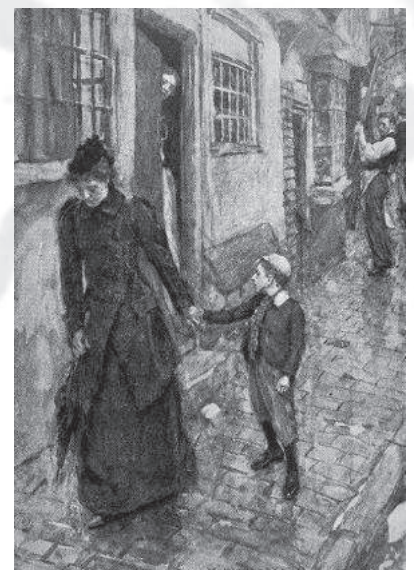
ぼくたちはおおすぎるのでやりました(349)

このように、リトル・ファーマー・タイムは自ら命を絶ちます。それも、妹と弟を道連れにしています。

ここから、わたしたちは何を読み取り汲み取るべきなのでしょう。ジュードやアラベラそしてスーも含めて彼らを実めるべきなのでしょう。あるいは、そうではなく、何か他に原因があり、それを非難すべきなのでしょう。答えはどこにあるのでしょうか。

たとえば、わたしは、次のように考えます。リトル・ファーマー・タイムに、このような言葉を言わせてしまう「世界」(この「世界」はわたしの歴史観だと二十一世紀の今も続いています)というのは、一体全体どうなのか、この「世界」に生きる人びと(特に学のある人たち)は何をやってきた／やっているのか、という点にあります。わたしたちは、いい加減に、「自分」を好むそして「理性」や「教養」や「多様性」などに重きを置く「お金」を儲けるということ、その是非を真剣に考えるべきであり、そして、それらを推し進めることの裏で陰で何が行なわれているのかを真摯に暴き批判しなければいけないはずであるでしょう。このことを、リトル・ファーマー・タイムは、己の命・魂と引き換えに、言っています。リトル・ファーマー・タイムを蔑し蔑んではなりません。

どうでしょうか。みなさんは、どのようにリトル・ファーマー・タイムの死をとらえますか。



図版。"I ought not to be born, ought I?" (frontispiece)

引用文献

Hardy, Thomas. *Jude the Obscure*. Harper and Brothers, [1895.] ハーディ, トマス『日陰者ジュード』川本静子訳, 国書刊行会, 1988 年.

令和8年度 第2学期 ゼミのお知らせ

健康・医療・産業の心理学

五十嵐 敦

会 場
福島SC



私たちの生活行動の土台となる「健康」と、その生活を支える「働く」ことに関する話題を取り上げます。心理学における代表的な理論や実際の研究アプローチなどを紹介しながら、参加した皆さんと意見交換ができればと思います。各回、参加は自由です。

10月17日(土) 15:00～16:30	健康・医療心理学の世界 ～健康じゃないといけないの？～	12月5日(土) 13:00～14:30	働くモチベーションと過労防止について ～やる気は怖い？～
10月31日(土) 10:00～11:30	医療における人間行動の心理 ～恥ずかしさが寿命に？～	12月13日(日) 10:00～11:30	職業生活とメンタルヘルス ～仕事があればそれでいいのか？～
11月7日(土) 15:00～16:30	ヘルスコミュニケーションとは ～その情報は信じられるのか？～	12月20日(日) 10:00～11:30	よりよい生活は良い睡眠から ～眠っていたら工夫できない～
11月21日(土) 10:00～11:30	若年労働者の特性と職場適応 ～〇〇世代と呼ばないで～		

物流・ロジスティクス入門(その2)

石川 友保

会 場
福島SC



近年、「物流」「ロジスティクス」「サプライチェーン」という言葉を新聞やテレビで見かけるようになりました。それぞれ、私たちの生活を維持するために、とても重要です。本ゼミでは、物流・ロジスティクスの基礎的な考え方や身近な例を学びます。

10月18日(日) 10:00～11:30	ロジスティクスと物流事業 (貨物自動車運送業や倉庫業などの 物流事業の実態を学びます)	12月6日(日) 10:00～11:30	ロジスティクスと環境対策 (ロジスティクスに関わる環境問題や法制度、 企業の取り組みを学びます)
11月1日(日) 10:00～11:30	ロジスティクスと売上の増加 (マーケティングとロジスティクスの関係や、 物流における顧客サービスを学びます)	12月20日(日) 13:00～14:30	ロジスティクスの管理 (ロジスティクス管理のためのシステムを学びます)
11月8日(日) 10:00～11:30	ロジスティクスと費用の削減 (物流コストの種類や、日本における 物流コストの実態を学びます)	1月10日(日) 10:00～11:30	まとめ
11月22日(日) 10:00～11:30	ロジスティクスと効率化対策 (物流のアウトソーシングや、共同輸配送、標準化、 最適化、KPIを学びます)		

道元の『弁道話』を読む

何 燕生

会 場
福島SC



後期は、前期に引き続き、中世の禅僧・道元の『弁道話』を読みます。『弁道話』は、漢文から和文への転換期に成立した道元最初の著作であり、中国禅の言葉がどのように日本語として表現されたのかを考えるうえで格好のテキストです。授業では、①『弁道話』に現れる専門用語の意味を調べること、②原文を現代日本語に訳すこと、の二つを中心に学習します。これらの作業を通して、古典の読解力を養うとともに、禅思想への理解を深めることを目指します。

10月10日(土) 13:00～14:30	「大宋国も後漢よりこのかた」で始まる節を読む。禅の歴史について学ぶ。	12月5日(土) 15:00～16:30	「ここをもて、わづかに一人一時の坐禅」で始まる節を読む。坐禅の効果とは何かを考える。
10月31日(土) 13:00～14:30	「宗門の正伝にいはく」で始まる節を読む。道元の言う「宗門」の意味とは何かを考える。	12月13日(日) 13:00～14:30	「いまこの坐禅の功德」で始まる節を読む。引き続き坐禅の効果とは何かを考える。
11月1日(日) 13:00～14:30	「これらの等正覚」で始まる節を読む。坐禅三昧の意義とは何かを考える。	12月19日(土) 13:00～14:30	「とういていはく、あるいは如来の妙術を正伝」で始まる節を読む。問答体となっており、最初の質問の意味を考える。
11月7日(土) 13:00～14:30	「又、心境ともに静中の証人」で始まる節を読む。坐禅の境地とは何かを考える。		

ゼミの 受講について

ゼミは、客員教授がテーマに沿って授業を行います。

ただし、面接授業とは違い、一方的に授業を進めるものではありません。学生さん対話をしながら授業を行って行きます。1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりませんが、積極的な参加をお待ちしております。

※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、当センター Web ページへの掲載及び館内掲示にてお知らせいたします。なお、日程の確認は電話でのお問い合わせも可能です。

イギリス文学を通して社会と文化と人びとを読む(その8) | 高田 英和

会場
福島 SC

令和8年度の第2学期も、前学期に引き続き、近現代のイギリス文学を読みます。文学テクストを通して、時代背景および社会／文化的な事象（逃避、自由、個人など）を同時に深めていきます。また、映像等を用いて文学作品の受容について、さらには、可能であれば英文学の成立・制度化とその意義に関しても、考察します。授業では、各自、予習してきたものをもとに、質疑応答・ディスカッション等の活動を、主体的に行っていきます。



10月17日(土) 10:00 ~ 11:30	はじめに —授業概要の説明、作品／作者とその時代について	12月12日(土) 10:00 ~ 11:30	イギリス文学と文化② —大人と子ども（あるいは少年と少女）
10月24日(土) 10:00 ~ 11:30	英文学と社会① —現実と虚構（あるいは空想と想像）	12月19日(土) 10:00 ~ 11:30	人びとの／と English Literature —国民とシティズンシップ
11月14日(土) 10:00 ~ 11:30	英文学と社会② —人間と自然	1月9日(土) 10:00 ~ 11:30	おわりに —さまざまな国、社会／文化における受容について
11月28日(土) 10:00 ~ 11:30	イギリス文学と文化① —憎悪と友愛		

韓国・朝鮮の歴史と現代 | 山田 紀浩

会場
いわき SS

韓国・朝鮮の檀君神話から現在までの歴史を一緒に検討します。内容は檀君神話と国家形成。中世における現代にも繋がる原理主義的儒教国家の形成について。韓国・朝鮮における反日のネックとなっている出来事。朝鮮半島に大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の2つの国がなぜ出来たのか。現代韓国経済発展の足掛かり。北朝鮮の経済政策などを検討し、現代の韓国・朝鮮について検討するものです。希望があれば韓国語や文化についても勉強します。



10月10日(土) 10:00 ~ 11:30	韓国・朝鮮（神話の世界から）	12月12日(土) 10:00 ~ 11:30	韓国の工業化について
10月31日(土) 10:00 ~ 11:30	韓国はなぜ儒教の国になったのか	12月19日(土) 10:00 ~ 11:30	北朝鮮の経済政策について
11月14日(土) 10:00 ~ 11:30	韓国・朝鮮における反日のネックについて	1月9日(土) 10:00 ~ 11:30	韓国・朝鮮について検討しましょう
11月28日(土) 10:00 ~ 11:30	韓国の経済政策について		

所長カフェのご案内



会場
福島 SC

歴代の所長にならって、第二学期から「所長カフェ」を開店することになりました。「所長カフェ」は、コーヒーや紅茶を片手に気軽に参加できるゼミナールです。10月から1月までの間、月1回第3木曜日、13時30分～15時30分を開店します。

「興味・関心のあること、疑問に思っていることなどを自由に語り合いたい」、「いま調べていることをレポートにまとめてみたい」、「いずれ卒業研究にチャレンジしてみたい」など、「学習」から「研究」へと踏み出してみたいと考えている方は少なくないでしょう。

でも、いざ始めてみると、「何から手をつけていいのだろう?」、「テーマの設定の仕方はこれでいいのかしら?」、「オリジナリティってどうやれば出せるの?」など、研究を進めるうえでの悩みは尽きません。所長カフェでは、こうした悩みを共有し知恵を出し合いながら、「研究を形にする」ためのお手伝いをしたいと考えています。

所長カフェに参加した経験がある方、初めての方、一部だけ参加できそうな方、どなたも大歓迎です。お待ちしております。

10月15日(木) 13:30 ~ 15:30	ガイダンスと交流 (興味・関心、悩みを語り合う)	12月17日(木) 13:30 ~ 15:30	研究テーマを立てる
11月19日(木) 13:30 ~ 15:30	研究って何だろう	1月21日(木) 13:30 ~ 15:30	研究構想の発表と相互講評